

自分を好きになる

発行日 2019年 7月24日

◎進路講話・性教育(3年生)

7月17日(水)に進路講話、19日(金)に性教育の講演会が行われました。どちらも今までの自分とこれからの自分を考える貴重な時間になりました。自分を好きになる総仕上げは、自分の希望する進路実現に向かって努力を積み重ねることです。

坂中レnga、この夏休みにどれだけ積み重なるか、楽しみにしています。

◎職場体験学習(2年生)

3日間の職場体験学習に取り組んだ2年生。自分の思い描いていた職場だったでしょうか。接客業は、知らない方との触れ合いも多く、緊張感も増したことでしょう。大変だけれど、やりがいを感じることでできる職場に未来の自分を想像できましたか？

年下のかわいい子の世話を疲れた人も、思い返してみると、逆に癒されたことにも気づけたのではないのでしょうか。



◎志賀高原登山(1年生)



心配された天候も「やる気 元気 いい天気」の校長先生の言葉通り、1学年の団結力で吹き飛ばし、大成功に終わりました。

「防災」をテーマにした取り組みで、お土産(?)を自作し、友達と協力して成し遂げる達成感も学ぶことができました。

◎県大会等の結果 ※個人成績は、北信越大会出場者のみ掲載。

女子剣道 団体戦 ○ 坂城中 2-1 小諸東中 △ 坂城中 0-0 下条中
 ベスト8 ○ 坂城中 4-1 波田中 ● 坂城中 0-5 松代中
 個人戦 近藤 咲紀 5位
 陸上 2、3年走幅跳 牧内 愛実 1位 富山 萌衣 2位
 1年女子100m 金子 亜瑠 2位 女子4×100m 1位(通信陸上)

◎体力向上・自力登下校月間の振り返り

今年度の6月は雨が多く、変化はしませんでした。昨年度より意識しているご家庭が多いと思われます。保護者の皆さまのご協力、ありがとうございました。

	4・5月	6月
自力(徒歩・自転車)	86.3%	86.3%
平成30年度	80.5%	86.0%

月間は終了しましたが、無理のない範囲での自力登下校に、引き続き、ご協力いただけたら幸いです。

坂中生よ、大志を抱けⅡ

～坂城町名誉町民 青木固 物語～

青木さんは、国道沿いにある日精樹脂工業を作った人、つまり創業者です。また、青木固研究所も創業しました。日精樹脂工業は先日、2年生の職場体験学習で行った人もいます。「世界の日精、プラスチックをとおして人間社会を豊かにする」という経営理念からわかるように、プラスチック製品を作る機械を作っている会社です。創業は終戦後になります。青木固会長が語った工場経営の考え方が「テクノハートさかき 坂城町工業発達史」という本に掲載されています。

- ・事業をする目的は、金が欲しいからでもない。名誉が欲しいわけでもない。世の中の人の為にするわけでもない。**ただ、おのれの生きがいのためにするものだ。**
- ・何よりも自分の仕事が好きだった。好きだからこそ、辛いことも楽しみになる。**好きだからこそ、情熱が沸き上がりその仕事のプロになれる。**
- ・ひとのことに気を使うな。社会生活、付き合い、地域社会の名誉職、ボランティア活動等にエネルギーを消耗するな。**自己の仕事を発展することに全力を尽くせ。**ひとによく思われたいという欲望を押し殺せ。**自己の名誉欲を満足させながら事業も発展させるほど、事業経営は甘くない。**
- ・己の命を打ち込んでやっている仕事が、発展していくことが、**社会への貢献になるのだ。**仕事を途中で倒産させてみる、どれほど社会に迷惑をかけるか、また恥ずかしいことかわからない。
- ・あれやこれやに手を出すな。迷うな。マスコミが、新技術だとか新素材とか21世紀とか言っていることは、すぐに古く浅薄な情報なのだ。そんなことに迷わされて、流行に目をくらまされるな。
- ・自己の仕事を通して専門的に追求していけば、**自己の仕事の中に最も新しい問題、仕事が発見できる。それこそ本物なのだ。**人の浅薄な甘言より自己の仕事に迷いを持つな。自己の仕事を探求せよ。
- ・同じことをやるなら自己流にやれ。人の言う通りやってもうまくいかなければ、つい悪い結果を人のせいにしたがる。**自己流にやればあくまで自己のせいになる。だから熱が入ってやれる。また興味と自信ができる。**
- ・自分なりきの仕事の理想に向かって、**今までたゆみない前進を続けて来たし、またこれからも勇氣と実行力を出して前進する考え**である。一生かかっても理想に到達することは不可能と分かっている、**ただ、前進するのみである。**

脈々と受け継がれる日精スピリットは、

- ・「いかに簡素化し、性能を向上させるかを考える」
- ・「現在を超えるためには現在に惚れていてはいけない。否定する事により超えることが可能となる」

と今でも進化し続けています。

今や、世界の日精、世界の青研ですが、スタートは戦後、偶然見た自在に形を変えられるプラスチックに魅力を感じ、戦後の日本に必要な物として、プラスチック製品を作る射出成形機を無一文から開発し、製造販売していったのです。

開発には天才的ともいわれる創造力と発明開発意欲があったからでしょう。そして、経営に対する考え方からもわかるように「自分の生きがいとして。自分の仕事が好きだからこそ、情熱を持ち、人まねをしないように開発することを大切にしてきた」からこそ、世界規模の会社になったのでしょう。



射出延伸ブロー成形機
青木固研究所HPより

明日から、夏休み。今年は33日間と例年より長くしました。是非、この長期休みを利用し、部活や受験勉強に没頭する傍ら、自分が生涯にわたって追い求められそうなもの。それはまず自分が面白いと思うもの、興味あるものを探してみてください。探すためにはテレビやインターネットではなく、体験してみることです。普段できないいろいろな体験をして、志を高め、2学期元気に登校してきてください。